

大阪プロダクトエコシステム創出事業 令和7年4月~令和9年3月31日実施予定 (公益財団法人大阪産業局)

<事業計画申請時>

地域課題解決の取組や複数の地域支援機関の相互連携強化等の取組に該当する場合は、チェック してください。

【課題】

中小企業の多い大阪において事業承継は重要な課題となっており、後継者は新たな柱をつくるため、新商品やサービス開発にチャレンジする意欲は高いが、経営資源が十分でないため、戦略立案やマーケティング、ブランディングを単独で取り組むにはハードルが高い。また、BtoC事業は目まぐるしいスピードで変化する市場動向をつかみ対応していく必要があるため継続的なサポートが求められている。

【目的】

専門家によるハンズオン支援で、企業理念やビジョンに則った商品開発を後押しすると共に、オンライン展示会に出展し、販路開拓と商品の訴求方法の検討を実施。開発後の商品については、消費者が集まる催事に出店。販売、テストマーケティングを行うと共に、この機を利用した企業主体での情報発信を促す。

【都道府県の施策との連携・親和性】

大阪府商工労働部が令和6年度部局運営方針において掲げる、中小企業等の成長に向けた支援の強化という重点テーマに対して、大阪産業局を含めた支援機関、府・市が一体となり推進している。また過去に開発を支援した商品は、優れた技術に裏打ちされた製品を知事が認定する「大阪製」、大阪の食の魅力を全国に発信する地域ブランド「大阪産」への登録にチャレンジするなど、府施策との連携を推し進めている

【本事業の内容】

若手経営者・後継者を主ターゲットとし、当財団事業利用企業及び行政・金融機関を通じて広く募集

商品開発伴走支援

令和7年度

【参加想定】10社
各社に一人アドバイザーがつき商品企画~開発、販売戦略立案等、伴走支援を実施。

※オンライン展示会に出展

商品開発伴走支援

令和8年度

【参加想定】10社
各社に一人アドバイザーがつき商品企画~開発、販売戦略立案等、伴走支援を実施。

※オンライン展示会に出展



大阪から世界に向けて発信できる商品の開発、新たな取り組みを継続する経営者、後継者の育成、前向きな企業ネットワークの形成による地域全体への波及

商品開発事業参加者(過去分含む)を対象に公募

企業連携の創出機会の提供

交流イベント

令和7年秋

イベント出店

商品PR/販売
テストマーケティング

令和8年春

イベント出店

商品PR/販売
テストマーケティング

令和8年秋

イベント出店

商品PR/販売
テストマーケティング

【結果ならびに成果の目標】

- 「商品開発・販路開拓支援」
 - 中小事業者の商品化率90%以上
 - オンライン展示会の総PV数3000以上
 - 問い合わせ件数20件以上 ※各回
- 「プロモーション支援」
 - 認知度向上/テストマーケティング実施等、経営に寄与した割合90%以上
 - イベント出店におけるユーザーヒアリング200件以上(各回)
- 「全体」
 - 事業または事務局を通じた企業間連携(コラボレーションによる商品開発、共同販促・プロモーション、業務依頼・売買等のマッチング等) 10件以上

【波及効果の目標】

中小企業において、同じ規模や業種の先進的な取り組みを行う企業の事例を参考にすることが多い。チャレンジを続ける企業が大阪から多く生まれることで、前向きな企業同士のネットワークを形成、拡大することができるとともに、これから新たに新規事業をつくりたいと考えている企業の前向きなチャレンジを促すことにより、中小企業の変革や稼ぐ力の向上、ひいては地域経済の活性化につなげていく。

【将来の支援目標】

継続的に事業の改善を行いながら企業支援を行い、結果として、自立的な商品開発・改良が生まれる環境を整える。支援体制としても、試行錯誤を続け、今後の方向性を検討していく。